

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の 整備に関する検討委員会(第1回)

委員会資料

平成30年 7月13日(金)

奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局
平城宮跡事業推進室

(1). 平城宮跡歴史公園について

①現在の平城宮跡(復原整備された主な建造物)

すでに復原整備されている主な建造物

朱雀門(復原)

第一次大極殿(復原)

推定宮内省(復原)

東院庭園(復原)

兵部省(遺構表示)

凡例

- 国営公園区域
- 県整備区域
- - - 史跡区域

近鉄奈良線

大宮通り

第一次大極殿

推定宮内省

朱雀門

兵部省

東院庭園

大宮通り

(1). 平城宮跡歴史公園について

②平城宮跡の経過

1922(T11)年	史跡指定
1952(S27)年	特別史跡指定
1959(S34)年	継続的な発掘調査の開始
1963(S38)年	国による土地の買上げ開始
1978(S53)年	文化庁「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想」策定 (「遺跡博物館」と位置付け、段階的な整備を実施)
1998(H10)年	文化庁による朱雀門、東院庭園の復原が完成 ユネスコ世界遺産に登録(「古都奈良の文化財」の構成資産の一つ)
2008(H20)年	文化庁「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画」策定
2008(H20)年	「平城宮跡歴史公園」事業化・閣議決定
2008(H20)年	国交省「国営平城宮跡歴史公園基本計画」策定
2008(H20)年	平城宮跡歴史公園 都市計画決定
2010(H22)年	第一次大極殿の復原が完成
2010(H22)年	平城遷都千三百年祭

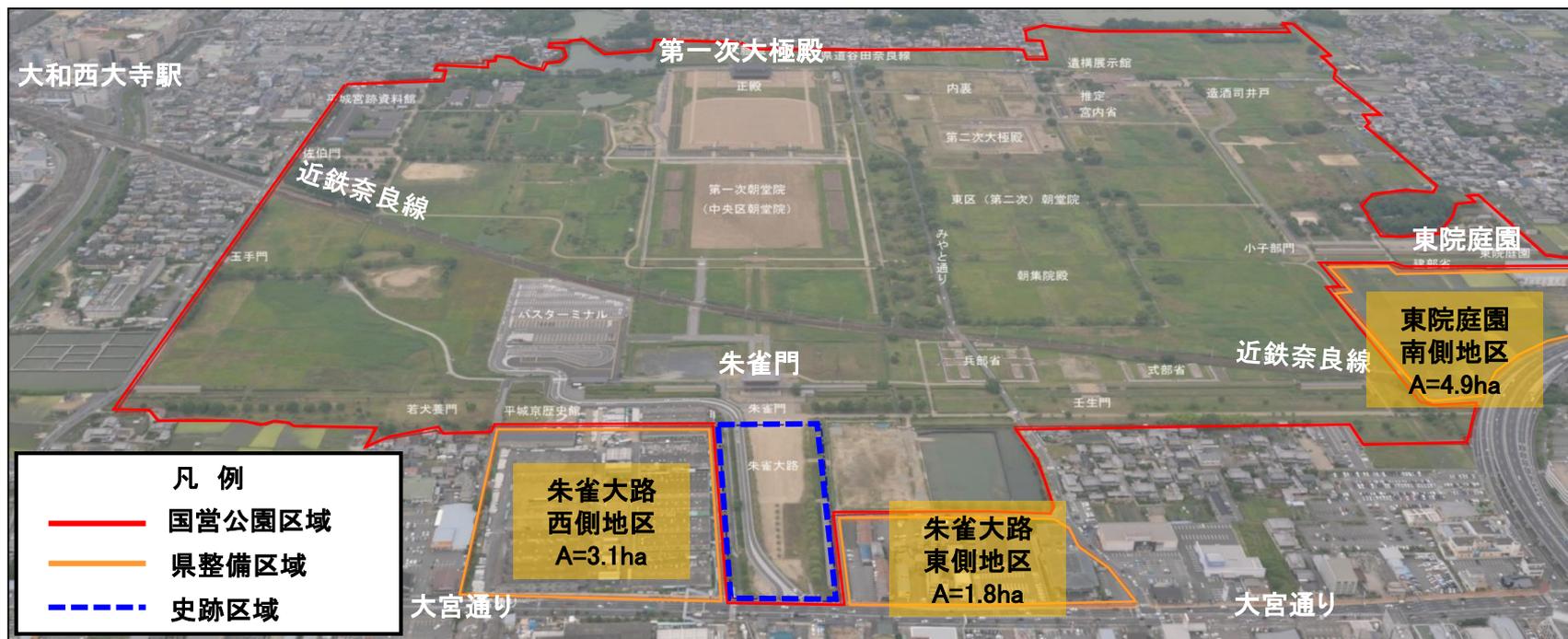
(1). 平城宮跡歴史公園について

③ 国営平城宮跡歴史公園および都市計画予定について

国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域

(H20.10.28 閣議決定)

我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図るため、奈良県奈良市佐紀町、法華寺町、二条大路南及び二条町の一部にわたる面積約120ヘクタールの区域を(中略)整備する。



(1). 平城宮跡歴史公園について

④ 国営平城宮跡歴史公園基本計画について

国営平城宮跡歴史公園基本計画(H20)
基本理念(目指すべき公園の姿、あり方)

古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、
平城宮跡の保存と活用を通じて、

“奈良時代を今に感じる”

空間を創出する。

(1). 平城宮跡歴史公園について

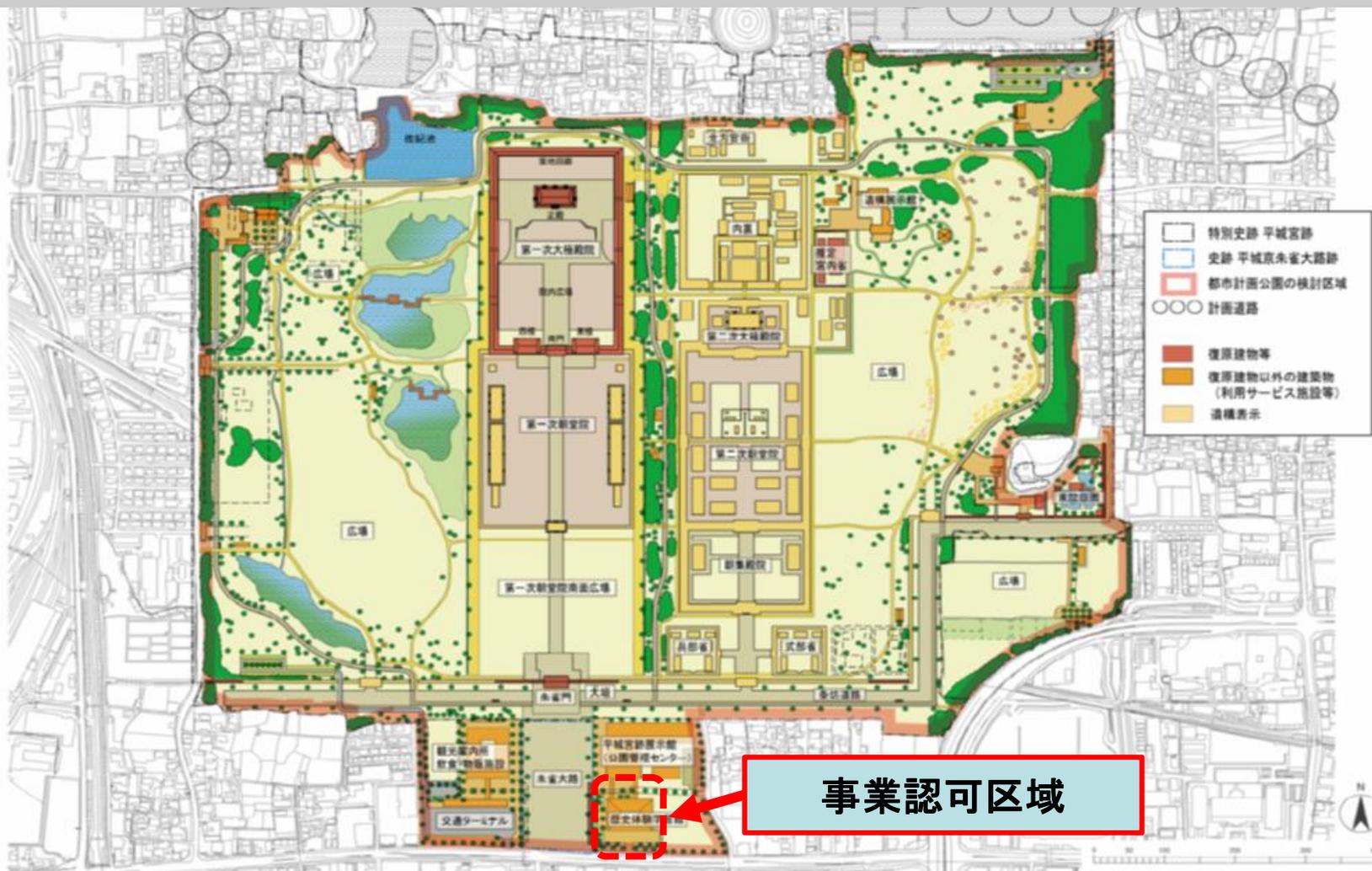
④国営平城宮跡歴史公園基本計画について(ゾーニング)



(1). 平城宮跡歴史公園について

④国営平城宮跡歴史公園基本計画について(基本計画平面図)

「シンボルゾーン」、「拠点ゾーン」を中心に進めています。



(1). 平城宮跡歴史公園について

⑤拠点ゾーン(朱雀門ひろば)の開園について



(2). 事業概要について

1. 施工者

奈良県

2. 都市計画事業の種類及び名称

大和都市計画公園事業

8・6・7号 平城宮跡歴史公園

3. 事業計画

事業地 奈良市二条大路南三丁目地内

面積 0.9ha

主な施設 歴史体験学習館

4. 事業効果

「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域 基本計画」（平成20年12月策定、国土交通省近畿地方整備局）において、拠点ゾーンの一端を担う『歴史体験学習館』として、奈良全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設に位置づけられていることから、今春開園の「朱雀門ひろば」に引き続き早期に整備を行い、「朱雀門ひろば」と一体的な施設運用により、平城宮跡歴史公園の更なる魅力向上及び賑わいの創出を図る。

(3). 事業認可について

①事業認可の経緯

大和都市計画(奈良国際文化観光都市建設計画)公園事業 平城宮跡歴史公園(朱雀大路東側地区)について、国土交通省から平成30年2月13日付けで都市計画事業の認可を取得しました。

平城宮跡歴史公園の県整備区域については、平成21年度に事業化しました朱雀大路西側地区が今月24日に開園いたしますが、引き続き朱雀大路東側地区0.9haの事業認可を取得したものです。

(3). 事業認可について

②事業認可の内容



今回の事業認可の内容

平城宮跡歴史公園 (朱雀大路東側地区のうち西側部)

【面積】 約0.9ha

【主な施設】 歴史体験学習館

【事業費】 約50億円

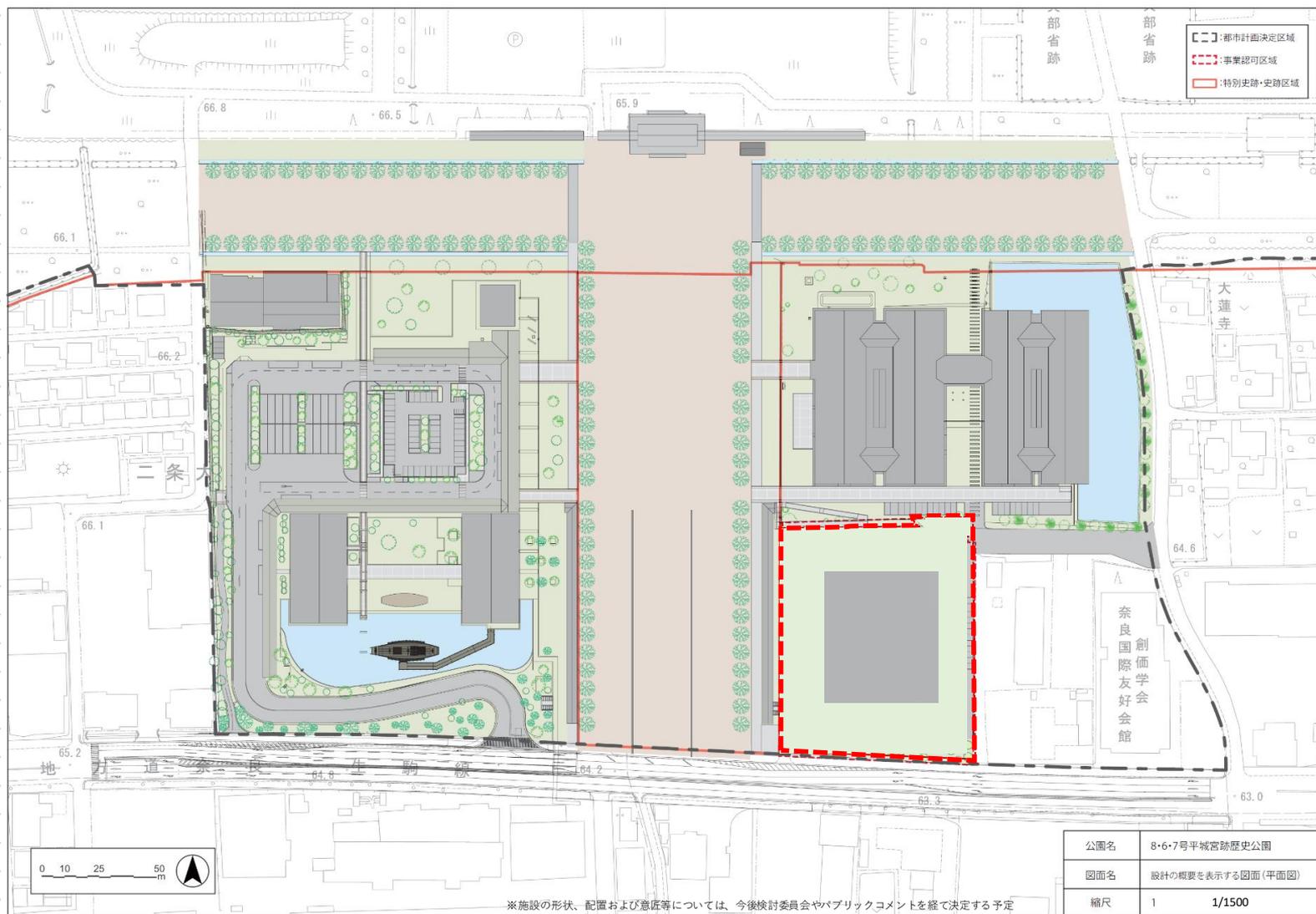
事業認可期間：平成30年度～平成37年度

都市計画決定：平成21年3月6日

事業認可日：平成30年2月13日

(3). 事業認可について

③平面図



平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会(第1回)

(4). 歴史体験学習館について

① 既往計画について

時期	計画名	計画の内容について	歴史体験学習館
H20.12 策定	国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡歴史公園基本計画 (近畿地方整備局策定)	今後の平城宮跡歴史公園の長期的な整備・管理を進めていく上で踏まえるべき基本的な内容を定めたもの 【拠点ゾーンについての記載】 平城宮跡の正面玄関及び奈良観光の玄関口として、公園全体の利用、管理・運営の拠点及び歴史・文化交流拠点並びに観光ネットワーク拠点の機能を持ったゾーンとする	・奈良県全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設 ※奈良県を中心とした地元による整備を想定



時期	計画	拠点ゾーンの整備コンセプト	歴史体験学習館
H25.12 策定	平城宮跡歴史公園 拠点ゾーン整備計画 (国営飛鳥歴史公園事務所・平城宮跡事業推進室)	平城宮跡の正面玄関としてふさわしい、往時の平城京のスケールを感じさせる広がりのある空間作りを目指す ① 往時の平城京の姿を知り、“奈良時代を今に感じる”空間とする ② 来訪者が平城宮跡に期待感や余韻を感じ、楽しみながら快適に過ごせる施設配置	・基本計画に同じ (朱雀大路に面する建物の配置に関しては、朱雀大路をシンボル軸とし、南北方向を意識するとの表現あり)



事業認可日	事業地	事業認可期間	歴史体験学習館
H30.2.13 近畿地方整備局 告示第16号	朱雀大路東側地区 0.9ha	認可日～平成37年度	施設本体 約2,300m ² 展示 約2,000m ² 平成36年度整備 平成37年度整備

(4). 歴史体験学習館について

我が国を代表する歴史・文化資産である平城宮跡の価値を広めるには、保存と活用を通じた情報発信が必要



情報発信をより分かり易く伝えるためには、現代の視点から見ても分かりやすい工夫が必要

奈良時代

当時の東アジアは大国「唐」が君臨しており、遣唐使を通じて進んだ政治制度や最先端の文化を学んだ

- ・ 都の設計(長安城をモデルに造営)
- ・ 律令国家としての整備(天皇を中心とした中央集権国家)
- ・ 唐を意識した外交(周辺諸国との外交) など



当時の国際交流を学ぶことによって、平城宮跡の貴重さを理解してもらうとともに、文化の発展には国際交流が大切であることを認識してもらう。

(4). 歴史体験学習館について

(体験学習のたたき案)

- ・ 当時の日本が都づくりや律令制度などを唐から学んだことが分かる体験学習
- ・ シルクロードにのって平城京にどのようなものが伝わり、どこにあるのかが分かる学習
- ・ 交流によって来日または帰国した文化人等が何を伝えた(残した)のかが分かる学習

※既存展示施設との棲み分けを行い、映像や展示等を駆使して「奈良時代を今に感じる」空間を創出

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会(第1回)

(4). 歴史体験学習館について

② たたき案

施設名		展示機能	体験機能	交流機能
平城宮跡資料館 (奈文研)	・文化財、特に不動産発掘調査研究の拠点として研究成果を公開する施設	最新の発掘研究成果速報の展示 【日本史】平城宮跡の歴史 【日本史】宮殿や役人の様子を再現 【日本史】出土品 【日本史】建物の模型、科学的な研究 【 - 】企画もの		
遺構展示館 (奈文研)	・国民各層が古代都城文化を体験的に理解できる施設 ・遺跡・遺物の保存修復・整備に関する技術開発・技術蓄積の施設	歴史の保存・展示 【日本史】本物の遺構 【日本史】出土品 【日本史】復原模型		
平城宮いざない館 (国土交通省)	・平城宮跡の魅力や価値をガイドランスし、多様な人々を公園利用につなぐ施設	平城宮・京を知る入口の展示 【日本史】平城宮跡の歴史 【日本史】出土品・資料 【日本史】平城宮の復原模型 【 - 】企画もの	【日本史】組物、瓦葺き、木簡文書づくり	多目的室
天平みはらし館 (県)	・来場者の利便性の向上と平城宮跡の歴史を活用した奈良独自の観光情報発信の施設	古都奈良の歴史情報発信 【日本史】平城宮跡の歴史 【日本史】天平時代の政治・暮らし 【日本史】阿倍仲麻呂が唐に向かうまで	【現代】展望デッキ 【日本史】VRシアター(平城京やすらげし都、平城京はじまりの都、三笠の山にいでし月かも) 【日本史】天平衣装体験	貸会議室
天平うまし館 (県)		古都奈良の歴史情報発信 【日本史】遣唐使船の解説		【 - 】企画展スペース
復原遣唐使船 (県)		古都奈良の歴史情報発信 【日本史】遣唐使船の復元	【日本史】復原遣唐使船の見学	
歴史体験学習館 (県) (たたき案)	・奈良時代を国際交流の観点から展示し、国際交流の大切さを学習する施設			